

一般会計での主な事業

■市制施行 10 周年記念事業負担金 (写真①)	136 万円
■定住・移住事業	542 万円
■総社市新生活交通「雪舟くん」運行委託	4876 万円
■空家等建築物実態調査業務	432 万円
■そうじゃ吉備路マラソン大会共催負担金	2350 万円
■市民提案型事業補助金 (写真②)	200 万円
■地域づくり自由枠交付金	7264 万円
■障がい者千人雇用事業	1710 万円
■小児医療費	2 億 4839 万円
■定期・臨時予防接種事業	1 億 7037 万円



■地産地消推進事業 (写真③)	498 万円
■観光プロジェクト経費 (写真④)	919 万円
■企業誘致対策経費	4248 万円
■プレミアム付商品券	6 億 2312 万円
■清音神在本線改良事業	6 億 1503 万円
■真壁支線 3156 号道改良事業 (写真⑤)	5047 万円
■新総社市一般廃棄物最終処分場建設事業	3 億 9714 万円
■高規格救急自動車 (写真⑥)	2979 万円
■放課後児童クラブ施設指定管理委託料	7543 万円
■昭和地区などの英語教育推進事業 (写真⑦)	2846 万円
■きよね認定こども園改修事業	1 億 535 万円
■昭和公民館移転新築整備事業 (写真⑧)	3 億 6067 万円

平成 27 年度決算

7 億 4802 万円 黒字

平成 27 年度の一般会計と特別会計、公営企業会計の決算がまとまりました。決算額や財政状況を見る指標のほか、主な事業を紹介します。問い合わせ 財政課財政係 (☎ 8228)

一般会計と 7 つの特別会計、2 つの公営企業会計の決算がまとまりました。一般会計の歳入は、284 億 478 万円、平成 26 年度決算と比較すると 13 億 629 万 1 千円増額しました。これは、消費税率が 8 パーセントに上昇したことにもない地方消費税交付金が増額されたことや、ふるさと納税の寄付金が増額されたことによるものです。歳出は、平成 26 年度と比べ 16 億 73 万円増額し、273 億 875 万 0 千円となりました。歳入額から歳出額を差し引いた額は、10 億 172 万 8 千円となりますが、平成 27 年度に実施予定だった事業が一部翌年度に繰り越されたため、これに要する財源 2 億 692 万 6 千円を差し引いた 7 億 480 万 2 千円が実質の黒字となりました。

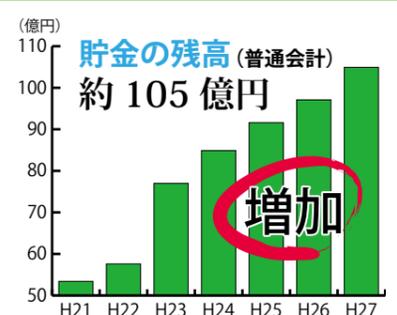
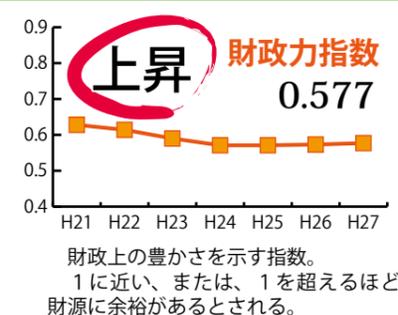
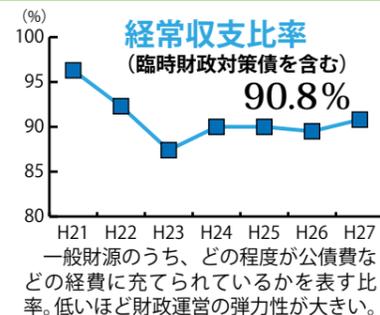
しかし、今後も地方交付税の減額が見込まれており、社会保障費の増加や総社小学校の建て替え、学校給食共同調理場の新設などの大型事業も予定されているため、引き続き行財政改革を進めていきます。

※1万円未満の額がある場合、切り上げて表示しています。

実質公債費比率 10.4%
一般会計や公営企業会計などの公債費やそれに準ずるものの総額が、一般財源に占める割合。平成 26 年度の 11.3% から 0.9% 改善した。18% を超えると、地方債の発行に県の許可が必要となる。

実質赤字比率・連結実質赤字比率 該当なし

将来負担比率 44.2%
市債の残高や数年にわたって行う事業の額、市と総社広域環境施設組合、市土地開発公社が将来的に負担する額が、通常の行政活動を行うために必要な財源(標準財政規模)に占める割合。350% が財政の早期健全化の基準。平成 26 年度の 61.4% から 17.2% 改善した。



指標で見る決算